

戦略的創造研究推進事業等の改革・強化について（報告）

「第 5 期科学技術基本計画」（平成 28 年 1 月 22 日閣議決定）及び「研究成果の持続的創出に向けた競争的研究費改革について（中間取りまとめ）」（平成 27 年 6 月 24 日競争的研究費改革に関する検討会）等を踏まえ、戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）等について主に以下の改革・強化を図る。

1. 戦略的基礎研究部会における調査審議事項関係

○「戦略目標等策定指針」（平成 27 年 6 月 8 日戦略的基礎研究部会）に基づき、平成 28 年度の戦略目標等について以下の手順に沿って検討中。

Step 1：基礎研究を始めとした研究動向の俯瞰

Step 2：知の糾合による注目すべき研究動向の特定

Step 3：科学的価値と社会的・経済的価値の創造が両立可能な戦略目標等の策定

○これまでの戦略的基礎研究部会での議論も踏まえつつ、PDCA サイクルとしてよりよい戦略目標等が策定されるよう、引き続き調査審議を実施。

2. その他

○研究設備・機器の共用の促進

・「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」（平成 27 年 11 月 25 日先端研究基盤部会）等に基づき、大型設備・機器は原則共用化とし、公募要領等において既存の共用設備の活用や新たに購入する機器の共用化などを明示するとともに、申請時等において購入機器が研究組織の共用システムに従って取扱われることを確認するなどの制度改善を実施予定（平成 28 年度より）。

○成果を下流につなげるための仕組みの強化

・CREST において、分野の特性に応じ、成果の最大化に向けた最適な研究チームを分野融合的に形成し、産業界と段階的に連携を進めながら研究を推進する方式を本格的に導入予定（平成 28 年度より）。

○国際融合研究体制の強化

・我が国として必要な分野・領域の研究を、外国人研究者を招へいすることで推進するなど、国際融合研究体制を強化予定（平成 28 年度より）。

○研究人材に対する支援の在り方の改善

・若手研究人材に研究展開を見通す機会を提供し、育成支援・キャリア形成支援に資する方策として、SciFoS（※）を本格的に実施予定（平成 28 年度より）。

※SciFoS (Science for Society)：研究者自身が一旦研究（室）の外に出て、社会の中の科学という観点から自らの研究を振り返り、「出口を見据えた研究」の在り方と進むべき方向を再確認する。

・研究代表者の研究マネジメント業務の負担等を考慮し、一定条件の下で、当該研究代表者の人件費の一部について、研究費の直接経費から支出可能とすることを検討中。